



進路だより

福島県立たむら支援学校
進路指導部通信 第1号
令和7年7月18日発行

保護者の皆様には、日頃より本校へのご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

「進路だより」では、年に3回、小学部、中学部、高等部での進路指導の様子を紹介してまいります。また、進路指導部では、保護者様からの進路にかかわる相談等に対して、常時情報提供を行っておりますので、学級担任を通して気軽にお問い合わせください。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

高等部『前期産業現場等における実習』について

高等部では、6月16日（月）～6月27日（金）の10日間、「前期産業現場等における実習」を実施しました。校外実習では企業や福祉サービス事業所などで、実際の仕事や作業を経験させていただき、生徒一人一人が将来の進路を考えるための充実した時間を過ごすことができました。校内実習では所属している合同職業班（総合サービス班・家庭班）で実習を行い、製品づくりなどの作業を通して働く意義や仕事の大変さを学ぶことができました。

【校外実習】



洗浄・加工



部品の加工



機織り



ミシン作業

【校内実習 家庭班】

【校内実習 総合サービス班（農園芸）】



枯草集め



植ええ

【校内実習 総合サービス班（清掃）】

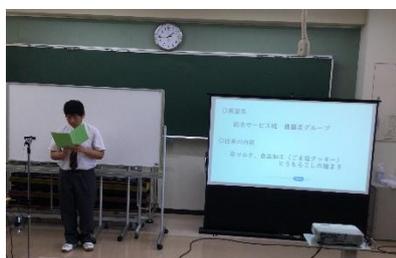


窓清掃



体育館清掃

7月4日（金）に前期産業現場等における実習報告会を行いました。各学級の代表生徒が、実習の成果と課題について発表しました。1年生にとっては初めての実習報告会でしたが、反省や今後の課題など、実習を通して学んだことを堂々と発表することができました。



小学部『今の学習が進路の学習～毎日の積み重ね～』について

小学部では、日常生活を送る上で必要な力を身に付けていきます。普段の授業や休み時間、家庭での生活全てが進路指導につながります。日常の生活を送る上で必要な力、基本的な生活習慣を身に付けていくことは、将来の社会生活において必要な力であり、お子様を支える基盤となります。

<目 標>

- 着替えや排泄、食事など、日常生活の基本的な習慣を身に付けられるようにする。
 - ・自分のことは自分でできるようにする。→ 一人でできることを増やす。
- 集団生活への参加に必要な態度や技能を育てる。
 - ・時間や決まり、ルールを守る。友達や教師と一緒に仲良く生活する。
- 自分と身近な社会や自然との関わりについて、興味・関心を深められるようにする。
 - ・地域の公共施設を利用する。身近な自然の中で遊ぶ。動植物の世話などをする。

<家庭でできる進路指導>

- 子供ができることは、手を出さずに見守ることが大切です。
- 規則正しい生活リズムをつくることは、将来に向けた準備です。



「きがえ」



「あいさつ」



「てあらい」



「きゅうしょく」



「そうじ」

中学部『前期産業現場等における実習について』

中学部では、職業に関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を育成するため、毎週火曜日と木曜日に2時間ずつ作業学習に取り組んでいます。新入生を含めた生徒12名は、少しずつ作業学習にも慣れ、6月16日(月)～20日(金)には、一日を通して作業学習を行う「産業現場等における実習」に取り組みました。前期では通常の作業班において、一人一人が自分の目標達成に向けて、5日間継続して取り組みました。

家庭班の織り機グループ(4名)では、キーホルダー、ストラップ、ポーチを、小物グループ(1名)では、ビーズストラップ等を製作しました。農工芸班の畑グループ(3名)では、ジャガイモ畑の除草、除虫、水やり、肥料づくり等を行い、紙グループ(4名)では牛乳パックを再利用した製品(油取りパック、カレンダー)の製作に取り組みました。

長時間継続して取り組むことは大変なことです、生徒一人一人が自分の目標を立て、見通しをもって作業課題に向き合うことで、課題を解決するために考え、工夫して実践したりするなど、将来の職業生活の実現に向けて取り組むことができました。



家庭班・小物グループ



農工芸班・畑グループ



農工芸班・紙グループ



家庭班・織り機グループ